

早雲だより

2022.10.25

第156号

歴史グループ早雲

代表 井上一夫

第一七二回 歴史ハイキング 報告

向日市歴史散策（長岡宮を中心）

2022年9月25日（日）

● 概要
今回の歴史ハイキングは、長岡京の長岡宮跡をはじめ、向日市にゆかりの史跡を巡りました。向日市文化資料館ホランティアガイドさんの案内で有意義な散策となりました。各地での詳しい解説ありがとうございました。

● 歴史グループ早雲の参加者は32名でした。

ホランティアガイドさんの適切な誘導と参加者の皆様のご協力で無事終了できました。ありがとうございました。

● 概要
長岡京は、桓武天皇によって延暦3年（784）に平城京から遷された都です。たった十年間の都であったため、ほとんど都として体をなさないまま廃棄された「幻の都」

と考えられていました。しかし現在まで60年以上にわたって行われてきた発掘調査によって、大極殿・朝堂院・内裏といった宮中枢部をはじめ、役所や貴族・役人の住まいなど「都」の姿が明らかとなりました。

長岡京の造営開始からわずかな期間で都が姿を現したのは、難波宮の建物の移築と全国から集められた農民の動員によったことが、解説で分かりました。

資料館の展示品から長岡京の姿が浮かび上がってきました。都が平安京に遷っても平安時代には西国街道で紀貫之の「土佐日記」に書かれているしまさか（島坂）がこの付近であり、豊田秀吉

の朝鮮出兵の軍勢や物資を肥後名護屋へ送る街道、江戸時代には吉峰寺などへの参詣で賑わうなど交通の要衝でした。

● 散策コース
阪急東向日駅～築神講常夜燈～梅ノ木石柱～向日市文化資料館～須田家住宅～元稲荷古墳～勝山公園（風食）～向日神社～眺望地点～説法石～五辻常夜燈～右塔寺～長岡宮大極殿跡～長岡京朝堂院公園～阪急西向日駅

（解説）
須田家住宅は、古くは「松葉屋」の屋号を持ち、幕末まで醤油製造販売を家業としていました。西国街道と愛宕道・物集女街道、たんば道が分岐する地に愛宕道に東面して建つ町家形式の建築物です。外観はいずれも切妻造り、棧瓦葺です。門口には中央に大戸口を設け、その北側に格子の

（解説）

築神講常夜燈

築神講（つきさか）常夜燈は、阪急東向日駅前の西国街道と府道向日町停車場線の合流地点に所在していましたが、平成28年に西国街道の入口に移転しました。寺戸町内にある伊勢講のひとつである築神講が、

天保13年（1842）年4月に建立したものです。高においては市内最大の常夜燈です。この築神講は、現在も活動しており、その象徴として民俗文化財に指定されました。

向日市文化資料館

常設展示「長岡京の歴史と文化」のほか、特別展や企画展、各種講演会、子ども歴史教室なども行っています。

須田家住宅

須田家住宅は、古くは「松葉屋」の屋号を持ち、幕末まで醤油製造販売を家業としていました。西国街道と愛宕道・物集女街道、たんば道が分岐する地に愛宕道に東面して建つ町家形式の建築物です。外観はいずれも切妻造り、棧瓦葺です。門口には中央に大戸口を設け、その北側に格子の

出窓、南側に格子窓を設けています。背戸口の外上部に祈禱札が打ち付けてあり、延享元年(1744年)には現在地に存在したことがわかります。京都府の有形文化財(建造物)に指定されています。

元稻荷古墳

国史跡乙訓古墳群の一基
古墳時代前期(3世紀末)の全94mの前方後方墳で乙訓地域の最古級の古墳です。埴輪の原型となる特殊壺形土器や特殊円筒埴輪、刀剣類、斧、土師器の重などの出土品があります。



(写真) 元稻荷古墳

向日神社

村伝によると奈良時代、養老2年(718)の創建と伝えられています。応永25年(1418)に造営が始まり、応永29年に上棟された本殿は、室町時代の『三間社流造』(さんげんしゃながれづく)という建築様式で国の重要文化財に指定されています。また同神社所有の「紙本墨書日本書紀神代紀下巻」も国の重要文化財に指定されています。

説法石

西へと向かう道中で、向日神社に立ち寄ったとき、そこに2羽の白いハトが飛んできて、日像の衣の裾をくわえて離さなかったそうです。そして鶏冠井村のお年寄りが日像に教えを請いました。

日像は、後に「説法石」と名づけられる木陰の石に腰を下ろし説教をはじめ、人々の心をとりえました。村人が

次々と日像を訪ねます。日像は熱心に仏の道を説き、法華経の信者はどんどん増えていったそうです。

いち早く改宗した人の家に日像が立ち寄ったとき、炊事場の湯気に「南無妙法蓮華経」の題目が浮かびました。それを見た村人は、歓喜のあまり野良着のまま踊り出したといいます。それが「鶏冠井題目踊」として伝わっています。この踊りは毎年5月に地元の石塔寺で奉納され、京都府の無形民俗文化財に指定されています。

五辻堂夜燈

江戸時代に京都から楊谷寺(柳谷観音)へ行く参詣者のため、楊谷道の起点となる五辻に立てられました。昭和初期に新道建設のため移設されましたが、平成24年に現在の場所に復元されました。

石塔寺

鶏冠井(かいで)町山畑にあり、日像上人が向日明神前に建てた題目石塔への信仰からおこったといわれる寺院です。

応仁の乱の後、日成上人が現在地に移し、大伽藍を建立して石塔寺と名付けたと伝えられています。毎年5月3日の花まつりに、「鶏冠井題目踊」が本堂で奉納されます。京都府の無形民俗文化財に指定されています。



(写真) 石塔寺

島坂

西国街道は、平安時代から京都と西国を結ぶ重要な交通路の一つで、五差路から南へ下る坂は、紀貫之の『土佐日記』に出てくる「島坂」といわれている。

大極殿公園

長岡宮大極殿跡・小安殿跡向日市鶏冠井町に1200年以上も前の建物の「大極殿」が今も地名として残っています。桓武天皇が政治を司ったところが「大極殿」で都の中で最も重要な場所です。「小安殿」は、大極殿の後ろの建物を意味し「後殿」とも呼ばれています。昭和39年(1964)に国の史跡に指定され、現在大極殿公園として市民の憩いの場となっています。毎年、11月1日には長岡京遷都を記念して「大極殿祭」が行われます。

一口感想

翔鸞楼



(写真) 大極殿公園

朝堂院公園の南側で、朝堂院何門から左右に続く回廊が南に折れ曲がり、その先端に平安宮の「翔鸞楼」に相当する楼閣建物が付属することが確認された。基壇は朝堂院南門、回廊、楼閣建物すべて同時に築かれており、後の改造結果ではなく長岡京遷都当初より計画的に造営されたことが判明した。門の左右に楼閣建物を配置するという構造は、中国の都城の影響を受けて長岡京で初めて採用されたと考えられる。この構造は朝堂院の荘厳な姿を際立たせる装置であった。

朝堂院公園
長岡宮朝堂院西第四堂跡
朝堂院は、宮の中央にあって国家的な儀式を行う場所です。長岡宮の時代の朝堂院は、東西に四堂ずつ、計八堂からなっています。西側の4番目にあたる「西第四堂跡」は、昭和57年(1982)の発掘調査により確認されました。平成4年(1992)に国の史跡に追加指定されました。



(写真) 大極殿前庭「宝幢」

H・MO

久し振りのハイキング、向日市歴史散策「長岡京を中心」は、日差しに強烈さはあったが、日陰に入ると秋の気配を感じ爽やかで有意義なハイキングを楽しむことが出来ました。

ボランティアガイドの詳細い説明で向日市・長岡京の歴史を感じることが出来ました。

まぼろしの都と言われるほどの謎めいてはいますが、現実に存在したことは事実なので、平城京のような立派な建造物があれば長岡京の知名度も上がり、もっともっと盛り上がるのではないのでしょうか。(発掘途上残念です。)

◇◇◇◇

Y・M

長岡京が造営された784年頃は、遷都が相次いで

いました。

645年難波宮・667年近江大津宮・672年飛鳥浄御原宮・694年藤原京・710年平城京・740年恭仁京・744年難波宮・744年紫香楽宮・745年平城京など、その遷都のたびに建物の柱やかわらなど使えるものは淀川を使って運んでいたのですね、今のリサイクルに通じる考えです。さらにいつの時代も庶民は、苦しい生活をしていられていることなど今回の散策も歴史から考えさせられることが多かったですね。さて、次の散策は私たちに、どのようなことを考えさせてくれるのでしょうか。

私、早雲のライン(リー

NE)管理をやらせていただいております。都合がよろしければグループラインに入ってください。現在、20名の方が入っております。いろんな情報が共有

できます。私を見かけたら気軽に声を掛けてください!!

◇◇◇◇

N・O

ゆっくりと向日市の歴史をすべて有意義でした。向日市の文化資料館と向日神社が良かった。

悠久の長岡京に風が吹き歴史ウォーク赤トンボ飛び

◇◇◇◇

M・S

向日町をゆっくり歩き長岡宮の歴史をかえりみても良い歴史体験をさせていただきました。

9月末とは思えない暑い中でしたが、ボランティアガイドさんの一生懸命の説明で分かりやすく楽しく学びことができました。ありがとうございました。

◇◇◇◇

H・MA

今回の歴史ハイキングはボランティアの方々のおかげ丁寧なガイドのお蔭で一段

と実りの多い歴史散策になりました。

“長岡京”については“平安京”に遷都する前、一時期都になったという事は知っていましたが、その規模、所在地、そして短期間で再度遷都した理由等について調べたり考えたことは有りませんでした。今回「向日市文化資料館」で充実した関係資料を拝見すると共にボランティアの詳しい解説をお聴きし良く理解出来ました。ただ、かつての宮域が住宅地等で侵され、また目に見える建造物が存在せず大極殿や朝堂院等のイメージが湧きにくかったのが残念でした。有益な企画、事前準備、当日のお世話をいただいた井上代表をはじめ役員の方々にお礼申し上げます。

◇◇◇◇

Y・O

集合時間に遅刻して申し訳ありません。出発前に

コカ(カード)無い、ケータイが見つからないとあせりました。落ちて探せばちゃんとリュックに入っていたのですが、最近こういう失敗があります。老化を感じます。歴史ハイキングに参加すると少し物知りになった気がします。老人性ボケだと思うのですが、うれしいです。向日市の歴史や長岡京のことについて少し理解できたような気がします。ボランティアガイドと役員の皆さまに感謝です。ありがとうございました。

◇◇◇◇

T・A

楽しく有意義な例会ありがとうございました。

向日市は初めて行きました。古墳や遺跡が多いのに驚きました。良い町でした。企画してくださった方々、資料館のボランティアガイドの皆様

に感謝し、お礼申し上げます。

今後の例会も楽しみにしております。よろこぶ。

◇◇◇◇

A・K

本日はありがとうございます

3()3。

久しぶりの散策楽しい1日でした。

次回安曇川愉しみです。

何時もお世話をかけてありがとうございます。

◇◇◇◇

T・M

楽しい1日、ありがとうございます。

家に帰って、資料を見直し復習迄出来、2回楽しむ事が出来ました。

ボランティアの方達の郷土愛も伝わって来ました。

人に説明出来る位の知識

私にはハードルが高いですが、すらすらとくっついて歩いて私の好奇心を少しでも満たせたら嬉しいですよ。

これから、宜しく。頑張って歩けるように健康管理頑張ります!!

◆井内講座◆

問題1

江戸時代、江戸と京を結んでいたのは東海道ですが、その距離は約500kmで、道中には53の宿場がありました(旅籠は全部で300軒近くあったらしい)。

計算すると、約のkm毎に宿場があったことになりました。

問題2

それでは問題です。この53次の設置には、徳川幕府のある思惑が隠されています。たと言われています。その思惑とは何でしょうか? 次の中から選んでください。

a 老人や女性の為に売り上げ増加を考えた。

b 宿場の関係者の為に売り上げ増加を考えた。

c それ以外の理由

さて五街道には一里塚が設けられていました。その一里塚には、必ず樹が植え

られていて、旅人の憩いの場でした。

それでは問題です。一里塚に植えられていた一番多い樹は? 次の中から選んでください。

a 松
b 榎(えのき)
c 杉

問題3
五街道は、「途中に置() (東中日奥甲) 五街道」と

問題4

歌手のペギー葉山さんで有名な『南国土佐を後にして』の歌の中に、「よみこい、よみこい」というフレーズがあります。皆さん良くご存知でしょうか?

それでは問題です。よみこい」といのは、どういう意味なのでしょうか?

問題5

よって、『南国土佐を後にして』の歌の中に出て、きまます「坊さんかんざし買うを見た」ですが、これは実在した話で、坊さんは、純信さん、かんざしを贈られた女性は、いかげやの娘お馬さんです。

それでは問題です。この二人はこの後駆け落ちをするのですが、その時の純信さんとお馬さんの年齢は？

問題6

この純信さんは真言宗の坊さんですが、その真言宗を開いたのは弘法大師空海です。私たちが四国八十八カ所の霊場をたどるのは、弘法大師が修行されたと言われる足跡をたどるといっています。そして、この巡礼者のことを「お遍路さん」と呼んでいます。

それでは問題です。「お遍路さん」の遍路とはどういう意味なのでしょう？

【編集後記】

今回の向日市歴史散策は、2020年5月24日に予定していた、コロナ感染拡大防止のため残念ながら中止した例会の再企画でした。

今回もコロナ感染状況が微妙な中での開催となりました。

◇◇◇◇◇

向日市文化資料館雄のポラントニアガイドさんの案内で楽しい散策となりました。

6名のガイドさんが3班に分かれて見どころ毎の解説をしていただき向日市の歴史を学ぶことができました。

各所で参加の皆さんからの質問にも答えていただき、知識が深まったと思います。

誠に、ありがとうございました。

◇◇◇◇◇

9月25日の例会は晴天に恵まれ、少し暑かったけど絶好のハイキング日和になりました。

次回もよろしく！

◆井内講座◆解答

問題1

c

問題2

b 榎(えのき)

問題3

東海道・日光街道・奥州街道・中山道・甲洲街道

問題4

夜にいらっしやい

問題5

純信(37歳)
お馬(17歳)

問題6

辺地(いなか)